

米子工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	設計製図Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 6		
開設学科	建築学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	6		
教科書/教材	初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ 彰国社					
担当教員	高増 佳子,山根 秀明,小畑 絢子,白枝 伸,原 浩二,萬井 博行					
到達目標						
課題内容に対して、考え方やコンセプトをわかりやすくまとめられる。 課題内容に対して、魅力的な設計としてまとめられる。 図面や模型の表現を魅力的に作り上げ、口頭発表でもわかりやすく発表できる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	コンセプト	課題内容に対して考え方やコンセプトをよりよくまとめられる	課題内容に対して考え方やコンセプトをまとめられる		課題内容に対してコンセプトをあまりまとめられない	
評価項目2	設計	課題内容に対してより魅力的な設計としてまとめられる	課題内容に対して条件通りにほどよく設計をまとめられる		課題内容に対して設計としてはまとめられる	
評価項目3	プレゼンテーション	図面や模型の表現を魅力的につくりあげ、口頭発表でもわかりやすく発表できる。	図面や模型をある程度上手にまとめられ、口頭でも発表できる。		図面や模型として最低限の表現はでき、口頭での発表もなんとかできる。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A 学習・教育到達度目標 E						
教育方法等						
概要	本校の教育目標の「基礎力」を養う科目。様々な建築の設計製図演習に取り組むことで、建築計画や建築構造など他専門教科の能力の総合力も養う。特に、3年生では、幼稚園や集合住宅、小規模公共施設など、少しずつ規模の大きな建物の設計も行う。また実際に米子にある敷地での計画のため、特に公共的な施設では、街の公共施設や建築事情にも目を向け、問題意識を持ちながら設計に取り組む。					
授業の進め方・方法	製図の課題ではとにかくたくさん手を動かし、エスキスを重ねて、案を練ること。頭の中だけで考えるのは、もってのほか。					
注意点	また、一つの課題の中でも何度もエスキスチェックや、レポート提出などの通過点があるので、遅れないようにしていくこと。めきりに間に合わせて課題を提出するのはもちろんのこと。また終わってからでも、自分なりに自分の作品を評価反省し、次回に生かすこと。毎週月曜16時～17時はオフィスアワーとするが、在室時は研究室にて対応する。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス+課題説明「幼稚園」	授業概要理解+課題理解		
		2週	課題「幼稚園」事例調べや発表	幼稚園事例調べ		
		3週	課題「幼稚園」敷地見学とレポート	幼稚園敷地見学とレポート作成		
		4週	課題「幼稚園」エスキス（コンセプトとプラン）	コンセプトとプランのエスキス		
		5週	課題「幼稚園」エスキスチェック1	エスキスチェック1 受ける		
		6週	課題「幼稚園」エスキス（プランと全体外観まで）	プランと全体外観のエスキス		
		7週	課題「幼稚園」エスキスチェック2	エスキスチェック2 受ける		
		8週	前期中間試験	課題にて措置		
	2ndQ	9週	課題「幼稚園」図面と模型化	図面化と模型化		
		10週	課題「幼稚園」図面と模型化	図面化と模型化		
		11週	課題「幼稚園」図面仕上げ、締め切り	図面化と模型化		
		12週	課題「幼稚園」プレゼンテーション	プレゼンテーションする		
		13週	課題「集合住宅」事例調べ+発表	課題理解と事例調べ		
		14週	課題「集合住宅」ブレインストーミング	ブレインストーミング		
		15週	課題「集合住宅」エスキス	コンセプト等エスキス		
		16週	前期末試験	課題にて措置		
後期	3rdQ	1週	課題「集合住宅」エスキスチェック1	エスキスチェック1 受ける		
		2週	課題「集合住宅」エスキス	プラン等エスキス		
		3週	課題「集合住宅」エスキスチェック2	エスキスチェック2 受ける		
		4週	課題「集合住宅」図面と模型化	図面化と模型化		
		5週	課題「集合住宅」図面と模型化	図面化と模型化		
		6週	課題「集合住宅」図面締め切り 講評会	プレゼンテーションする		
		7週	課題「文化パブリックスペース」課題説明+敷地見学	課題理解		
		8週	後期中間試験	課題にて措置		
	4thQ	9週	課題「文化パブリックスペース」ブレインストーミング+発表	ブレインストーミング		
		10週	課題「文化パブリックスペース」エスキス	コンセプト等エスキス		
		11週	課題「文化パブリックスペース」エスキスチェック1	エスキスチェック1 受ける		
		12週	課題「文化パブリックスペース」エスキス	プラン等エスキス		
		13週	課題「文化パブリックスペース」エスキスチェック2	エスキスチェック2 受ける		
		14週	課題「文化パブリックスペース」図面と模型化	図面化と模型化		
		15週	課題「文化パブリックスペース」図面と模型化	図面化と模型化		

		16週	学年末試験 講評会		プレゼンテーションする		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	2		
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	2		
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	2		
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	2		
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	2		
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	2		
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	2		
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	2		
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	2		
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	2		
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	2		
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	2		
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	2		
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	1	後9	
建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	1						
建築における形態(ものの形)について説明できる。	2						
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	0	80	0	100
基礎的能力	0	20	0	0	0	0	20
専門的能力	0	0	0	0	80	0	80
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0